

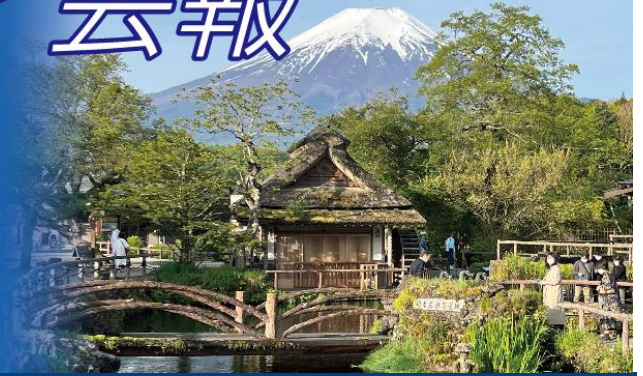


寄居ロータリークラブ 会報

YORII ROTARY CLUB



R.I.会長
ゴードンR.マッキナー
第2570地区ガバナー
高丹 秀篤
第4グループガバナー補佐
原島 生慈



令和6年3月13日(水)

会場 Spark (寄居町商工会)

第2722回例会

司会 小鮎 哲夫 (SAA)

点鐘 松本 則之会長 (12:30)

ソング 奉仕の理想

1. 会長の時間

寄居RC 松本 則之さん

皆さん、こんにちは。本日本当にいい天気です。この例会場すごく眺めが良いので、この時間、仕事から離れて清々しい気分になって、午後の後半戦も仕事を頑張っていただけだと思います。



皆さんは何をしたときに幸せを感じますか？私は美味しいものを食べたとき、欲しいものを手に入れたとき、自分が何かをして人が喜ぶ顔を見るとき、人を笑顔にできたとき、そして仲間との交流です。これがあると本当に人生が幸せでいっぱいになります。

世界で傑出した近代の人を挙げなさいというと、多くの人が、Apple創設者のスティーブ・ジョブズ、彼を挙げるのではないかと思います。大変莫大な資産を一代で築き上げた、成功者の代名詞ともいえるジョブズですが、彼は亡くなるときに、病床上で「自分はものすごい資産を築いたけれど、これは大して意義はなかった。それよりもっと仲間と、人生と一緒に謳歌したかった。」というような後悔を述べていたそうです。

例えば、1兆円をもらったとして、何でも好きなものを買って、何でも、とにかく美味しいものを食べられる、そんな状態になれば幸せでしょうかという質問あります。人と交わることなく、ただ自分1人だけで、世界中に自分1人だけしか存在しない世界で、好きなものは何でも買って、好きなものは何でも食べられる、そういう状態が整えられて、人は幸せを感じられるのでしょうかという質問を投げかけられたことがありました。

1億円ぐらいするスポーツカーで、高速道路で200キロ、300キロ出せるかもしれませんが、やっぱり1人だけでは幸せな気分にはなれないというのが私の実感でした。皆さんも多分そう感じるのではないかと思います。スティーブ・ジョブズに足りなかった幸せはこれではないで

しょうか。

彼は飲食店でも、レストランは防犯のために貸し切りにして、自分たちだけで食事をとったそうです。孤独な状態で、街のレストランのいろんなお客がいる喧騒など、そういった楽しみを味わえなかったというのがあるのかなと思います。またスティーブ・ジョブズは、服を選ぶのも労力を使いたくないということで、同じズボン、同じシャツを何枚も持っていて、服を着るのも自動的にしていたといいます。全ての無駄を排除していたのですね。

この無駄というもの。積極的に無駄というものを味わうことで、人生の楽しみというものも出てくることもまた事実だと思います。スティーブ・ジョブズも例えばロータリーに入るなどして、仲間と理想を語り合っ、目的や目標に向かって歩むことができたのであれば、晩年そんな寂しいセリフを述べて、この世を去ることはなかったのではないかと私はそのとき感じました。ですから皆さん、3月、4月は、周りの人をとにかく喜ばせる、笑顔にする。あと交流を楽しむ。ということを目指して、過ごしてほしいと思います。これは一生続けるべきものだと思います。生涯においても、人を喜ばせたい、または人を楽しませたいという人、そういうことを思っている人が例えば飲食店をやるとしたら、来る人を喜ばせたい、楽しませたいと思えば、料理の味はもちろん盛りつけからサービスの内容までいろいろとアイデアを出すのではないかな。自然に喜ばせる、楽しませるとのことのみで、自然に繁盛店へと繋がっていくのではないのでしょうか。これは我々の商売でも同じではないかという思いを持っています。今月は皆さん、周りの人を本当に楽しませて喜ばせることに専心してください。以上、会長の時間とします。どうもありがとうございました。



2. 幹事報告

寄居RC 松本 幸男さん

皆さん、こんにちは。幹事報告をさせていただきます。本日の幹事報告は、今週16、17日の週末に行われます、地区大会について、再度お話しします。16日土曜日は、地区役員と会長・幹事で出席します。17日に関しましては、会場は深谷市文化会館で9時集合とプログラム予定になっていますが、9時登録受付で9時半点鐘となりますので、10分前ほど、早めに集合してください。そのときにネームプレートなど、お渡ししますので、よろしくお願ひします。そして駐車場は、300台ほど置ける場所になっていますので、皆様各自でお越しいただくか、話し合って乗り合わせということもできると思いますので、どうぞよろしくお願ひします。

地区大会の次の例会は27日、夜間例会となります。夜間例会は、こちらSp arkです。点鐘18時となっていますので、間違いのないようお願いします。本日の幹事報告は以上です。ありがとうございました。

3. 委員会報告

(1) 出席推進委員会

赤坂匠康さん

皆さん、改めましてこんにちは。春本番になってきて花粉がだいぶひどく、会場でもマスクをしている方が何人もいますが、黒い車が真っ黄色になっている程ですので、皆さんお気をつけください。

先ほど会長からどんなときに幸せを感じるかという話がありました。先日和田秀樹さんというお医者さんの書いた「どうせ死ぬんだから」という本を読んで、会長の話とオーバーラップする内容だったので、少し驚いています。日々後悔のないように楽しく生きるということを信条にこれからも頑張っていきたいと思ひます。

また、週末の地区大会では米山の委員として楠ちゃんと一緒に受付のところで貯金箱を抱え皆様をお迎えします。なにとぞご協力の程、よろしくお願ひします。

例会日	総員	欠席	出席	MU	出席率
3月13日	36	5	31	0	86.11%
3月7日の修正出席率					75.00%

(2) ニコニコボックス委員会

下条 誠さん

松本 則之さん 例会場から見る山がすっかり春ですね。今日もひと花咲かせましょう！

多めにいただきました

松本 則之さん 鈴木さん、卓話ありがとうございます。楽しみにしています。

松本 幸男さん 鈴木光則さん、本日の卓話大変楽しみにしておりました。勉強させていただきます。よろしくお願ひします。

多めにいただきました

荻野 幸一さん 鈴木さん、卓話楽しみです。

佐橋 正行さん 鈴木さんの卓話、楽しみにしています。

浅見 克一さん 鈴木さん、本日の卓話、長い間まっておりました。楽しみにしておりました。

山口 正彦さん 鈴木さん、卓話楽しみです。存分に聞かせていただきます。

鈴木 光則さん 本日は卓話お世話になります。お昼寝OKです！！

柴崎 猛さん 鈴木さん、卓話楽しみにしています。

柴崎 正さん 鈴木光則さん、卓話待っていました。蒔の蔓やカタクリの子葉が土地を割って顔を出すの如く。

清水 浩一さん 博学の鈴木さん。卓話楽しみです。

加藤 祐司さん 鈴木光則さん、本日の卓話楽しみにしておりました。

安齋治一郎さん 鈴木さん、待ってました。よろしくお願ひします。

大久保知明さん 鈴木さんの卓話楽しみでした。よろしくお願ひします。

赤坂 匠康さん 鈴木さん、本日の卓話とても楽しみにしてました！よろしくお願ひします。早速させていただきますが、最後まで聞いて速攻で早退します。

荻野 真仁さん 浦和レッズの今期初勝利がありましたので。

橋本 則彦さん 鈴木さん、本日の卓話よろしくお願ひします。申告期限まであと2日、佳境に入っっていて、へろへろです。

吉田 正博さん 本日の鈴木さんの卓話、楽しみにして来ました。よろしくお願ひします。

森田 淳一さん 鈴木さん、本日の卓話を楽しみにしています。本日も宜しくお願ひ致します。

吉田 昌弘さん 鈴木さんの卓話、楽しみに参りました。どうぞよろしくお願ひ致します。

小鮒 哲夫さん 本日の卓話、楽しみでした。

鈴木さん、よろしくお願ひします。

権田 功さん 鈴木さん、卓話楽しみにしています。よろしく。

豊田 康業さん 鈴木光則さん、本日の卓話楽しみにしておりました。今日もよろしくお願ひします。

野村 文昭さん 鈴木さん、今日の卓話楽しみにしてまっす！！

土師 賢一さん 鈴木光則さんの卓話楽しみにしておりました。本日も宜しくお願ひ致します。

権田 功さん 前回欠席のため。

野村 文昭さん 前回欠席の為。

下条 誠さん 息子が宮崎大学工学部に合格することができました。一人暮らしをするようになるので、引越しの準備をしておりますが、妻と一緒に宮崎に行くと言ひ出して

下条家はいろいろ大変です。大きく出させていただきました。

大きくいただきました

卓話

鈴木 光則さん

皆さん、こんにちは。久しぶりの卓話ということで、たくさんニコニコをいただき、少し緊張しておりますが、よろしくお願いします。本日の内容は大変恐縮ですが、我が家の家族旅行の話をしていただきます。

2月13日から2月24日まで、家族5人でフィリピンに行ってきました。うちの奥さんが2年ぐらい前から計画していた旅行です。



場所は、マニラから北西に向かったパラワン島というところ。パラワン州と言って、フィリピンの中で一番大きな州になります。面積は大体岩手県ぐらいです。

南東にボルネオ島、マレーシア領です。ブルネイもすぐ近くの場所です。マニラに行くよりも、マレーシアに行く方が近い。そこへ約9日間、ツアーで行ってきました。結構ハードな移動で、2月13日、深夜1時50分の羽田発マニラ着。そこから陸路。妻の弟が迎えに来てくれました。

クラーク空軍基地。当時米軍の基地があったのですが、日本が進出したときに、マッカーサーがここで“I shall return.”と言って退避した空港があって、米軍の基地があります。そのすぐ近くに国際空港があります。

まずは、そのクラーク国際空港からセブ島に向かうのですが、その前に、ジョリビーというフィリピンのオリジナルのハンバーガーチェーンでハンバーガーの朝ご飯を食べました。

これはお墓です。ふつうは非常に簡単なお墓ですが、お

金持ちの人のお墓は全部沖縄みたいな建屋が建っています。ハロウィンとかありますね。日本でいうお盆みたいな時期は、そこに泊まり込みで、食事を持ち込んで麻雀やったりトランプやったり、一晩過ごすというような、墓地ですがそんなに暗い雰囲気のところではなかったです。

食事:

フィリピンのお餅、蒸しパン、カラマンシー(柑橘類、たいていの肉料理に振って食べる)

シングという料理で、豚の細切れ、豚の耳やいろんな部分の肉が混ざっていて、玉ねぎと炒めてあるのですが、醤油・にんにく・酢・唐辛子の入った鉄板料理です。味付けがしっかりして、いろいろな味付けがあって、その地方でも味付けが違うので、毎回どこへ行っても食べるくらいお気に入りの一品でした。



本場のハロハロ。一番下にあるのはバナナとか、ランカという果物を甘く煮詰めたものです。ウベという紫芋、プリンみたいなのがレッチェ・フランという、たまにコストコなんかでも売っているのですが、フィリピンの家庭料理として作られ、コンデンスミルクを使った、日本のプリンよりもねっとりとして濃厚なプリンを混ぜて食べます

カエルです。最初嫌だったのですが、足を引っ張って食べたら美味しいです。お腹の方が食べたくないと思いましたが、かじったら挽肉みたいなものが入っていて、腸詰とか何か、細切りにしたいろいろな野菜とか、セロリなんか細かく入っていて、ケチャップを付けて食べたら本当に美味しかったです。生まれて初めて食べました。

シニガン、鶏のスープです。ちょっと酸っぱいです。フィリピンの濃い味の料理に合いますが、結構すっぱいので苦手な人もいるかもしれません。

クラーク国際空港からセブ島に向かいます。

深夜の飛行機に乗って朝2時着。そこからオスロブへ4時間の陸路。ジンベエザメと一緒に泳げる海へ行きます。ちょうど日が昇ったぐらいの時間に到着しました。生まれて初めて家族でスキューバダイビングです。レクチャーは40分ぐらいしか受けていないです。

少し風が強くて波があったので、あまり透明度が良くない日でしたが、ただ入れるだけでもラッキーだよと、ガイドさんが言っていました。大体2人に1人、専属のインストラクターがついてくれました。Googleの中に水が入ってくるし、耳抜きができなくて耳が痛いしで、経験したことがある人はわかると思います。テレビで見ると皆さん自由自在に泳いでいるのですが、私はインストラクターに引っ張ってもらわないと自由に動けないような状況でした。チ

ンチンと音が鳴るとジンベエザメが来た合図なのですが、上でボートに乗った人たちが餌をあげているので、そこに寄ってきました。しかし私はこのころにはもうサメが寄ってきて嬉しくないくらい死にそうに大変で、早く終わらないかなと考えていました。奥さんも映っていませんが、20分くらいでリタイアして陸に戻っていました。

セブ マンダリンホテルにチェックイン

ハウス オブ レチョンにて食事(誕生日会)。セブに来たら必ずここに行きなさいと言われるほど美味しい料理が出ます。

豚肉、ピビンカ(米粉で作るフィリピンの伝統的なお菓子。パンケーキのような感じ)、レチョン(炭火で一頭の豚を丸ごと焼いた料理)皮がパリッとして中の肉はジューシーです。そしてガーリックライス。イカの団子、蛤のスープ、シシグ、挽肉の春巻、空芯菜の炒め物。



ちょうど2月14日、私の誕生日でした。たくさんのお客さんのいる中で、ケーキとろうそくとういうサプライズをしていただきました。すごく恥ずかしかったです。何十年ぶりにロウソクを吹き消しましたけど、これが一番幸せな顔だと言われました。そしてカジノに行きました。子供たちも初めてカジノで、1人1万円ずつだったのですが、全て負け、マンゴーシェイクを食べてホテルに帰ったという流れです。これがセブの観光ツアーでした。

セブからマクタン空港。ここから今度、パラワン島の細長い島、プエルトプリセサという州都で、ここが唯一の都市で、人口が80万人ぐらいと言われています。プエルトプリセサの空港に到着です。

海外に行ったら一番困るのは、やはり皆さんトイレだと思います。トイレ事情が非常に良くないです。ロータリーの友3月号の14ページにも特集があります。水と衛生月間ということで、海外のトイレの事情。これを見てもらうとわかるのですが、ホテルの中でも紙が流せません。ゴミ箱が置いてあって、お尻を拭いた紙はそこへ入れます。そこで役に立ったのがパナソニックの携帯ウォシュレットです。ペットボトルにそのまま繋いで、その水を使っておしりが洗える洗浄機です。それを持って行ったので、特段あまり困ったことはなかったのですが、ウォシュレットに慣れてしまっている方は海外ではちょっと大変だと思います。

海外でウォシュレットがある国というのは韓国ぐらいかなと思うのですが、あまり他の国に行ったことがないのでよくわかりませんが、とにかくトイレ事情というのは大変です。

ここからツアーです。アイランドホッピングへ。ホンダベイというところがあり、そこに島がいくつかあるのでパンカーボートという船に乗って渡っていきます。

1つ目の島ではシュノーケリングをしますので、レンタルをしました。



バリアフリーアイランド。砂の何かオブジェがあって、写真を撮るスポットです。写真もガイドさんがたくさん撮ってくれます。

マッサージは1時間450ペソ、大体1,200円から1,300円くらいです。フィリピンはマッサージがとても安いので、ほぼ毎日どこかしらでやってもらいました。

パラワン島は観光客がヨーロッパの方が多いです。アルメニアとかバルト3国から来てる人が多かったです。リゾート開発はドイツが入っているということで、ドイツ、フランス、あとはロシアから来ている観光客がメインだそうです。実際9日間、パナマに行っていて、日本人に会ったのは2人だけでした。中国人がちょっといて、やはりヨーロッパ人、あとはフィリピンの人が観光に来るそうです。

翌日、2月17日。エルニドに向かいます。

ジップラインをしました。景観の良いところからジップラインです。イカダに乗って対岸に行きます。ビーチを10分ぐらい歩いて山道に入ります。この山が非常にきつかったのですが、10分ぐらい歩いて登って行ったところがあります。今回のジップラインは800mありました。ハーネスをつけて、ヘルメットをかぶって、言葉がわからなかったのですが、早く行けと言われた気がしたので、スタートしました。本当に自然の景観を生かしているジップラインでしたので、カメラだけ落とさないように気をつけたのですが、なかなかバランスが難しくして前を向けなかったのですが、綺麗なビーチを見ながら800m一気に下っていきます。まあまあ長かったので、止まるときに落ちるのじゃないかと心配だったのですが、そんなこともなく到着です。ジップラインからみるこのビーチは非常に綺麗でした。

次に行ったのがアンダーグラウンドリバー。洞窟ですけど、カヤック、船で洞窟へ入って行きます。観光では1.5キロ行って、1.5キロ戻ってくるので、約3キロ40分ぐらいのツアーです。外国人用に日本語、韓国語、中国語、いろいろな言語のイヤホンをつけて、ガイドが話をしてくれます。ここは1999年に世界遺産に指定されているところで、航行可能な地底の河川としては世界最長です。観光では1.5キロしか行けないのですが、特別な許可をもらえれば8.2キロまで行けるそうです。ただ、まださらにその先があるらしく、亡くなっている方もいるということなので、行けるところまで行った話だと、奥まで行って、天井高が10階建てのビルが入るぐらいの高さがあるところもあるそうです。

それから陸路で約5時間かけてエルニドに向かいます。

翌朝、2月18日のツアーはアイランドホッピングで、ツアーA（ビックラグーン、清水アイランド、シークレットラグーン、セブンコマンド）でした。なぜセブンコマンドなのかというと、戦時中7人の将官がここにいたそうです。その方たちが現地の人とも大変仲が良かったということでセブンコマンドというビーチの名前が付いたそうです。

ここではシュノーケリングをしました。小さい魚がいるので、パンをちぎってやると小魚がたくさん上がってきます。海は大変綺麗でした。しかし、最後の最後にここで船のエンジンがかかなくなりまして、1時間くらい待たされて仲間の船に曳航されて港に戻りました。大変味のある船でした。

また、向こうのガイドさんはすごいですね。泳ぎが本当に上手で、いろいろ選抜して集めたらオリンピック選手にもなれるのではないかとぐらい泳ぎが上手です。

清水アイランド。日本人の名前ですが、数十年前に、まだパラワンがあまり開発されていないときに、海洋調査できた日本人のダイバーの方、その方が亡くなってしまったということで、ここに清水アイランドという名前がついたそうです。



船上でお昼を食べました。エビ、鳥、焼きそばみたいなもの、きゅうりの酢漬けです。船上で食べていると、こーやってヤシの実をカヤックで売りに来ます。上手に剥いてくれますが、とても小さなカヤックでどこにでも出没するという感じです。値段はとにかく全部3倍ぐらいします。

シークレットラグーンという島で、穴を通して海に出るという場所なのですが、全くシークレットではなく、穴を通るとき、またガイドさんがこーやってビデオ撮ってくれます。

次にBIGラグーンというところで、シーカヤックですね。非常に大きい入り江の中です。その日の夜はお祭りがやっていたので、海鮮とか好きなものを選んで食事をしました。そこにはバロットという半分蒸したフィリピンの卵がありました。中に鳥がいるのですが、美味しいそうです。精力剤ということで、フィリピンの皆さんは食べているんですけど、僕は1回スープだけ吸いましたが、後は食べられませんでした。

移動の手段のトライシクルです。これに5人ぐらい乗ります。大体150ペソ、400円くらい支払いますが、移動手段としては一番手軽です。

次はコロン島にフェリーで移動します。船着き場では乗る前に、荷物全部を犬で薬物検査されます。

5時間フェリーに乗ります。途中ものすごく揺れて、みんな船酔いになりましたが、何とか耐えて最後の目的地、コロン島です。

カヤンガン湖、アジアの中で最も透明度の高い湖ということで有名です。ここは必ずベストを着用しないといけません。淡水と海水が混合する珍しい湖だそうです。切り立った岩々とエメラルドグリーン湖の対比は絶景です。この絶景スポットで写真を撮りました。観光雑誌やパンフレットとか、いろいろな案内に載っているそうです。

ここが問題のところですが、波が高く風が強い日だったので、私はここで溺れてしまいました。もうちょっと、あと5分見つかるのが遅ければ死んでしまうところだったのですが、船長が気づいて、すっ飛んできてくれて、助けられました。カップみたいな人で、ものすごい体力があって、コーラルガーデンというところなのですが、泳げないのわかっているのに、引っ張って行って見せてくれました。奥さんに、命を助けてくれたからチップをあげてよって言ったら、100ペソでいいよねって言うので、250円の命か俺はと。もう少しチップあげてくれないかということで、一気に10倍ぐらい上げて喜んでいただきました。本当に死ぬなと思ったのはダム崖から落ちた小学生のときと今回で2回目です。もう本当に生きた心地しませんでした。船長が飛び込んでくれたときに助かったと思った次第です。

翌日2月21日(水) コロン市街地巡り。カシューナッツ工場、Mt. タパヤス(裂かれた山)からの夕日など。



2月22日(木) プスアンガ空港からクラーク空港へ。そこで射撃に行ってきました。姪っ子と別れて、マニラ空港から午前9:30に日本へ帰国。そして朝一番に牛丼を食べて家に戻ったというツアーでした。

ちなみにプエルトプリンセサと仙台青葉ロータリークラブは姉妹提携したそうで、2000年、2001年、2005年、2006年にパラワンの方に赴いているそうです。

年を取ったらしてはいけないというのが、説教、昔話と自慢話ということですが、今日の卓話はちょっと自慢話みたいで大変恐縮ですが、これをもちまして卓話とさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

松本 則之 会長

鈴木さんありがとうございました。これはまさにスティーブ・ジョブズがしたかったことではないかと私は思いました。ご家族には、一生心に幸せが刻まれると思います。

それでは閉会の点鐘をします。
どうもありがとうございました。

点鐘 会長 松本 則之さん

国際RC第2570地区第4グループ 寄居ロータリークラブ
E-mail yorii-rc@carrot.ocn.ne.jp

2024.3.13 会長 松本 則之 会報・雑誌委員長 加藤 祐司
No. 19 幹事 松本 幸男 副委員長 浅見 克一

・例会日時 毎週(水)12:30~13:30
・例会場 Spark(寄居町商工会)
・住所 寄居町寄居1228
・TEL 048(581)2468
・FAX 048(581)3530